

V 疾病対策課の業務概要

結核予防事業、感染症予防事業、エイズ予防事業、肝炎予防事業、原爆被爆者対策事業について関係機関と連携を図りながら業務を行っている。

1 結核予防事業

結核の新登録患者数は41人で前年比1人増となっている。年末時登録者数は84人で前年比16人減、罹患率(人口10万対)は12.5で0.2増、有病率(人口10万対)は8.6で0.6増、となった。

新登録患者の内訳では、喀痰塗抹陽性患者は12人で前年比1人増、無症状病原体保有者10人で前年比10人減である。

医療が必要な全結核患者(潜在性結核感染症患者を含む)に対して、訪問や面接等でDOTS(直接監視下短期化学療法)を実施している。

また、服薬治療支援のため、君津中央病院を会場にDOTS会議を開催し、患者の支援計画の検討や情報交換を行い服薬支援の徹底に努めた。

2 感染症予防事業

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条に基づく医師からの届出は、3類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が6件、4類感染症のE型肝炎が5件、A型肝炎が1件、つつが虫病が2件、日本紅斑熱が2件、レジオネラ症が9件であった。

その他、ノロウイルス等による感染性胃腸炎の集団発生が11件、インフルエンザによる集団発生が11件、水痘による集団発生が1件発生した。

上記の3・4類感染症及びその他集団発生の疑われる事案については、法律第15条に基づく積極的疫学調査を実施し、感染拡大防止を図った。

3 エイズ予防対策事業

管内養護教諭・助産師・保健師等を対象に性感染症の現状と基礎知識について講演会を1回実施した。

地域住民への周知として、街頭キャンペーン活動等を行い知識の啓発普及を図った。

また、随時相談を受け付け、匿名、無料による定例の昼間・夜間エイズ相談でHIV抗体検査を月2回実施した。さらに、HIV抗体検査にあわせて希望により梅毒・クラミジアの検査及びB型肝炎・C型肝炎検査を実施した。HIV検査は、233人が受検した。

4 肝炎対策事業

肝炎ウイルス検査を月2回のHIV抗体検査と同時に実施し、B型肝炎238人、C型肝炎239人が検査を受けた。

5 原爆被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、各種手当の支給及び被爆者の健康診断を年間2回実施した。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

区分		年						
		平成 17年	平成 22年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年
管内人口		322,456	326,889	326,810	326,265	325,770	325,360	327,287
新登録患者数		76	73	61	50	42	40	41
年末時登録者数		195	168	103	123	113	100	84
結核死亡者数	管内	1	1	3	3	5	1	0
	千葉県	88	71	68	71	75	82	62
結核死亡率 (人口10万対)	管内	0.3	0.3	0.9	0.9	1.5	0.3	0.0
	千葉県	1.7	1.4	1.3	1.3	1.4	1.6	1.2
罹患率 (人口10万対)	管内	23.6	22.3	18.7	15.3	12.9	12.3	12.5
	千葉県	22.5	17.0	13.7	14.2	11.9	12.0	11.1
有病率 (人口10万対)	管内	18.6	15.6	12.2	12.0	7.1	8.0	8.6
	千葉県	17.2	11.9	9.0	9.1	7.3	7.7	6.9

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータは千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 /人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 /人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核					（ 罹 人口 10 万 対 ） 率	占 塗 肺 結 核 の う ち の 割 合 （ % ）	（ 潜 在 性 結 核 感 染 症 ） 無 症 状 病 原 体 保 有 者	疑 似 症 患 者	の 結 核 死 亡 者 体	の 結 核 死 亡 疑 い 者 体	
			計	活 動 性 肺 結 核			肺 活 外 動 結 核 性							（ 別 掲 ）
				陽 喀 痰 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性 の	そ の 他 の 陰 性								
平成29年		42	33	9	10	14	9	12.9	27.3	27	0	0	0	
平成30年		40	33	11	11	11	7	12.3	33.3	20	0	0	0	
令和元年		41	34	12	14	8	7	12.5	35.3	10	0	0	0	
木更津市		22	18	8	6	4	4	16.2	44.4	3	-	-	-	
君津市		8	8	1	4	3	0	9.5	12.5	2	-	-	-	
富津市		8	6	2	3	1	2	18.1	33.3	2	-	-	-	
袖ヶ浦市		3	2	1	1	0	1	4.7	50.0	3	-	-	-	

(3) 年末時登録者数 (活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核					不 活 動 性 結 核	不 明	（ 有 人口 10 万 対 ） 率	（ 別 掲 ） （ 潜 在 性 結 核 感 染 症 ） 無 症 状 病 原 体 保 有 者	
			計	活 動 性 肺 結 核			肺 活 外 動 結 核 性				治 療 中	観 察 中
				陽 喀 痰 塗 性 抹	登 録 結 核 菌 陽 性 の	そ の 他 の 陰 性						
平成29年		113	16	6	3	7	7	54	36	7.1	15	14
平成30年		100	24	10	6	8	2	62	12	8.0	18	9
令和元年		84	23	4	13	6	5	52	4	8.6	6	2
木更津市		43	10	2	4	4	3	29	1	9.6	3	2
君津市		17	8	1	5	2	0	8	1	9.5	2	0
富津市		10	4	1	3	0	1	5	0	11.3	1	0
袖ヶ浦市		14	1	0	1	0	1	10	2	3.2	0	0

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表 1 - (4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以 上
平成 29 年		42	0	0	1	3	3	3	8	11	8	5
平成 30 年		40	1	0	2	1	3	4	8	6	11	4
令和元年		41	0	0	2	3	2	4	5	11	8	6
木更津市		22	-	-	1	2	2	3	3	5	4	2
君津市		8	-	-	1	1	0	0	1	2	1	2
富津市		8	-	-	0	0	0	0	1	4	1	2
袖ヶ浦市		3	-	-	0	0	0	1	0	0	2	0

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表 1 - (5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以 上
平成 29 年		113	0	0	3	8	17	10	23	28	17	7
平成 30 年		100	1	0	3	6	8	12	19	22	19	10
令和元年		81	2	0	3	6	5	8	14	23	13	7
木更津市		43	0	-	3	2	3	6	9	11	7	2
君津市		17	0	-	0	2	0	2	2	3	3	5
富津市		10	0	-	0	0	1	0	0	6	3	0
袖ヶ浦市		11	2	-	0	2	1	0	3	3	0	0

(6) 患者面接実施状況

表1-(6) 患者面接実施状況

年		区分	人数(人)	DOTS内容(延件数)											
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性			潜在性結核		
				入院時			退院後			訪問面接	所内面接	電話・その他	訪問面接	所内面接	電話・その他
				訪問回数	左の内訳		訪問面接	所内面接	電話・その他						
初回	期間内	退院前													
平成29年	保健師	4	15	8	7	0	20	4	56	27	71	110	2	64	92
	DOTS支援員	3	-	-	-	-	13	-	13	20	-	39	5	1	32
平成30年	保健師	3	49	9	39	1	31	9	33	64	54	93	21	30	78
	DOTS支援員	6	1	-	1	-	23	-	3	18	-	15	2	0	3
令和元年	保健師	5	43	9	27	7	37	1	67	122	28	124	10	13	82
	DOTS支援員	4	1	-	1	-	14	-	1	36	-	1	-	-	-
令和元年患者数(人)			12						29			10			

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(7) DOTS実施状況

表1-(7) DOTS実施状況

(単位:人)

年		区分	全結核患者			潜在性結核感染症
				肺結核患者(再掲)		
				肺結核患者	肺結核喀痰塗抹陽性患者(再掲)	
平成29年	実施者数	61	37	7	24	
	患者数※	64	37	7	27	
平成30年	実施者数	38	31	10	20	
	患者数※	38	31	10	20	
令和元年	実施者数	38	33	10	10	
	患者数※	38	33	10	10	

※前年の新登録患者数(転入者を含み、治療開始1ヶ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について(情報提供)を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1－(8)－ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者 実人数 ①	実施者数 実人数 ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 延件数	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 29 年	58	56	96.6	75	43	1	31	0	0	54	0	2	0	0.0
平成 30 年	40	40	100.0	48	28	2	18	0	0	36	0	2	2	5.0
令和 元年	47	46	97.9	65	40	2	21	1	1	45	0	0	1	2.2
保健所	/			47	32	0	15	-	-	/				
委託分				14	8	2	2	1	1					
その他				4	0	0	4	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表1－(8)－イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者 実人数 ①	実施者数 実人数 ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 延件数	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 29 年	342	332	97.1	427	240	1	186	0	0	325	0	7	0	0.0
平成 30 年	402	395	98.3	470	296	4	170	0	0	383	0	11	1	0.3
令和 元年	224	224	100.0	315	157	3	147	4	4	210	10	4	0	0.0
保健所	/			191	146	0	45	-	-	/				
委託分				97	11	3	35	4	4					
その他				67	0	0	67	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

(9) 管理健診実施状況

表1-(9) 管理健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果(実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
平成29年	131	119	90.8	169	169	0	0	100	19	0	-
平成30年	119	109	91.6	167	167	0	0	68	41	0	-
令和元年	91	88	96.7	131	131	0	0	37	51	0	-
保健所	/			70	70	-	-	/			
委託分				14	14	-	-				
その他				47	47	-	-				

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人			家族			保 険			後期高齢者			生活保護法			その他		
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成29年	72	72	0	28	28	0	6	6	0	11	11	0	20	20	0	7	7	0	0	-	-
平成30年	70	65	5	25	20	5	10	10	0	19	19	0	16	16	0	0	-	-	0	-	-
令和元年	71	71	0	17	17	0	10	10	0	15	15	0	28	28	0	1	1	0	0	-	-

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総数	被用者保険			国民健康 保 険	後期高齢者	生活保護法	そ の 他
		本人	家族					
平成29年	11	1	0	1	7	2	0	
平成30年	12	4	0	0	8	0	0	
令和元年	13	0	0	5	8	0	0	

※実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年	総数
平成29年	10
平成30年	12
令和元年	13

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長通知数 (20条第4項)
平成29年	10	10	9
平成30年	12	12	11
令和元年	13	13	20

表1-(11)-ウ 入院措置数

(単位:件)

区分 年	入院措置数
平成29年	0
平成30年	0
令和元年	0

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位：件)

年	区分		ツ反検査数(延件数)			発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他			
平成29年	0	2	1	1	0	2	0	0			
平成30年	0	6	2	4	0	6	0	0			
令和元年	0	5	3	2	0	4	1	0			

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位：件)

年	区分		IGRA検査数(延件数)				結果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可				
平成29年	275	7	245	20	16	1				
平成30年	178	146	278	23	20	3				
令和元年	178	19	185	0	12	0				

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況

(単位：件)

年	区分		総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成29年	183	34	128	31	55	3		
平成30年	143	46	72	39	71	7		
令和元年	130	51	60	37	70	14		

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1- (14) 定期結核健康診断実施報告状況

(単位：人)

年 区分	項目			間 接 撮 影 件 数	直 接 撮 影 件 数	喀 痰 検 査 件 数	発 病 の お そ れ が あ る 者 の 数	患 者 発 見 数 ③	患 者 発 見 率 ③/② (%)
	対 象 者 数 ①	健 診 者 数 ②	健 診 率 ②/① (%)						
平成29年	115,930	32,555	28.1	7,731	24,820	247	5	0	-
平成30年	115,332	31,467	27.3	902	30,560	51	3	0	-
令和元年	115,562	29,464	25.5	3,616	25,844	193	4	0	-
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)			60	3,746	0	0	0	-
	施 設 長	福祉施設入所者 (65歳以上)		40	1,742	0	0	0	-
		その他施設 入所者		0	-	-	-	-	-
	事業者			935	11,780	4	0	0	-
	市町村長			2,581	8,576	189	4	0	-

※間接撮影及び直接撮影を実施せず喀痰検査のみの4名を含む

(15) 結核予防啓発活動実施状況

表1- (15) 結核予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	形 態	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
令和元年 9月6日	君津保健所	講習会	高齢者施設における結核等 研修会	管内高齢者施 設職員等	47

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2-(1) 1類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
令和元年	—	—	—

(2) 2類感染症発生状況(結核は除く)

表2-(2) 2類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
令和元年	—	—	—

(3) 3類感染症発生状況

表2-(3) 3類感染症発生状況 (単位:人)

病類 年・市町村	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性	腸チフス	パラチフス
				大腸菌 感染症		
平成29年	5	—	—	5	—	—
平成30年	11	—	—	11	—	—
令和元年	6	—	—	6	—	—
木更津市	1	—	—	1	—	—
君津市	1	—	—	1	—	—
富津市	3	—	—	3	—	—
袖ヶ浦市	1	—	—	1	—	—
その他 (管外)	0	—	—	0	—	—

(4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症病発生状況

(単位:人)

疾患名		平成29年	平成30年	令和元年
1	E型肝炎	2	3	5
2	ウエストナイル熱	—	—	—
3	A型肝炎	2	3	1
4	エキノコックス症	—	—	—
5	黄熱	—	—	—
6	オウム病	—	—	—
7	オムスク出血熱	—	—	—
8	回帰熱	—	—	—
9	キャサヌル森林病	—	—	—
10	Q熱	—	—	—
11	狂犬病	—	—	—
12	コクシジオイデス症	—	—	—
13	サル痘	—	—	—
14	ジカウイルス感染症	—	—	—
15	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフ レボウイルス属SFTSウイルスであ るものに限る。)	—	—	—
16	腎症候性出血熱	—	—	—
17	西部ウマ脳炎	—	—	—
18	ダニ媒介脳炎	—	—	—
19	炭疽	—	—	—
20	チングニア熱	—	—	—
21	つつが虫病	1	—	2
22	デング熱	—	—	—
23	東部ウマ脳炎	—	—	—
24	鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9)を除く)	—	—	—
25	ニパウイルス感染症	—	—	—
26	日本紅斑熱	2	—	2
27	日本脳炎	—	—	—
28	ハンタウイルス肺症候群	—	—	—
29	Bウイルス病	—	—	—
30	鼻疽	—	—	—
31	ブルセラ症	—	—	—
32	ベネズエラウマ脳炎	—	—	—
33	ヘンドラウイルス感染症	—	—	—
34	発しんチフス	—	—	—
35	ボツリヌス症	—	—	—
36	マラリア	—	—	—
37	野兎病	—	—	—
38	ライム病	—	—	—
39	リッサウイルス感染症	—	—	—
40	リフトバレー熱	—	—	—
41	類鼻疽	—	—	—
42	レジオネラ症	1	3	9
43	レプトスピラ症	—	—	—
44	ロッキー山紅斑熱	—	—	—

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況

(単位：人)

疾患名		平成29年	平成30年	令和元年
1	アメーバ赤痢	1	—	4
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	2	2	—
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	3	—
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	—	—	1
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	6	7	5
6	クリプトスポリジウム症	—	—	—
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	—	1
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	3	2
9	後天性免疫不全症候群	4	—	2
10	ジアルジア症	—	—	—
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	—	—	1
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	—	—	1
13	侵襲性肺炎球菌感染症	9	7	8
14	水痘(入院例に限る)	—	—	—
15	先天性風しん症候群	—	—	—
16	梅毒	4	9	4
17	播種性クリプトコックス症	—	1	—
18	破傷風	—	—	—
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	—	—	—
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	—	—	—
21	百日咳	—	15	4
22	風しん	2	8	8
23	麻しん	—	—	3
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	—	—	—

※21の疾患は平成30年1月1日より小児科定点把握疾患から全数把握疾患となった。

4の疾患は平成30年5月1日より5類の全数把握疾患となった。

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数 (単位:箇所)

インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹	疑似症
13	8	2	2	1	18

※疑似症定点は平成31年3月31日まで

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況 (単位:人)

疾患名	平成29年	平成30年	令和元年
1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	6,075	6,306	6,883
2 RSウイルス感染症	26	26	26
3 咽頭結膜熱	273	151	162
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,619	750	421
5 感染性胃腸炎	994	902	666
6 水痘	117	152	126
7 手足口病	557	313	729
8 伝染性紅斑	32	97	162
9 突発性発しん	83	94	73
10 百日咳	—	—	—
11 ヘルパンギーナ	94	87	113
12 流行性耳下腺炎	42	33	29
13 急性出血性結膜炎	1	—	3
14 流行性角結膜炎	27	42	51
15 性器クラミジア感染症	14	30	21
16 性器ヘルペスウイルス感染症	13	33	32
17 尖圭コンジローマ	2	6	2
18 淋菌感染症	1	1	11
19 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)	20	14	30
20 クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	—	—
21 細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く)	—	—	—
22 マイコプラズマ肺炎	100	80	59
23 無菌性髄膜炎	—	—	—
24 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	—	—	—
25 メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染	42	47	68
26 薬剤耐性緑膿菌感染症	—	1	—

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	1	1	—	1
検体提供数 (件)	16	17	—	29

(6) その他

表 2 - (6) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位：件)

年度 区分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
			学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
平成 29 年度	204	1,686	175	29	3	—
平成 30 年度	121	1,379	141	27	1	—
令和元年度	71	956	47	23	1	—
幼 稚 園	4	38	—	4	—	—
小 学 校	53	736	35	17	1	—
中 学 校	13	175	11	2	—	—
高等 学 校	1	7	1	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—

(7) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表 2 - (7) - ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
令和元年度		—	—	—

イ 2類感染症

表 2 - (7) - イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況 (結核は除く)

年度	病類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
令和元年度		—	—	—

ウ 3類感染症

表 2 - (7) - ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)，検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌 感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成 29 年度	15	20	—	—	—	—	15	20	—	—	—	—	4
平成 30 年度	34	63	—	—	2	2	32	61	—	—	—	—	2
令和元年度	38	43	—	—	—	—	38	43	—	—	—	—	3

エ 4類感染症

表 2 - (7) - エ 4類感染症健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
令和元年度	E型肝炎(1件)	1
	レジオネラ症(15件)	17
	つつが虫病(6件)	6
	日本紅斑熱(2件)	2

オ 5類感染症

表 2 - (7) - オ 5類感染症健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
令和元年度	インフルエンザ(11件)	115
	風しん(疑い含む)(7件)	85
	麻しん(疑い含む)(17件)	44
	感染性胃腸炎(11件)	126
	水痘(1件)	18
	侵襲性髄膜炎菌感染症(1件)	3

カ 指定感染症

表 2 - (7) - カ 指定感染症健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
令和元年度	新型コロナウイルス感染症(17件)	28

(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査(人))

区分 年度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 (検疫通報除く)	自主申告による 調査数	接触者及び同行者 調査数	検疫通報に伴う 検便実施者数(件)	検 出 菌			
						コレ ラ	赤 痢	0 157	そ の 他
平成29年度	2	2	—	—	2	—	—	—	—
平成30年度	2	2	—	—	—	—	—	—	—
令和元年度	1	1	—	—	1	—	—	—	—

(9) 衛生研究所への確認検査依頼数

表2-(9) 衛生研究所への確認検査依頼数 (単位：件)

区分	疾 患 名	結 果		計
		陽 性	陰 性	
	新型コロナウイルス感染症	1	21	22
	つつが虫病	2	1	3
	日本紅斑熱	2	1	3
	風しん(疑い含む)	3	0	3
	麻しん(疑い含む)	1	2	3

(10) 就業制限通知数（結核を除く）

表2-(10) 就業制限通知数 (単位：件)

区分 年度	疾 患 名			計
	腸管出血性大腸 菌感染症	新型コロナウイ ルス感染症		
平成29年度	4	-	-	4
平成30年度	11	-	-	11
令和元年度	7	4	-	11

(11) 感染症予防啓発活動実施状況

表2-(11) 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
令和元年 7月26日	君津保健所	令和元年度医療機関立入検査等 説明会	管内病院・市 関係職員	57人

(12) 感染症健康危機管理事業

表2-(12)-ア 地域健康危機管理推進会議開催状況

開催日	参加人数	主な内容
—	—	—

表2-(12)-イ 新型インフルエンザ等訓練、その他の会議

開催日	参加人数	主な内容
令和元年 10月25日	16人	新型インフルエンザ発生時対応訓練
令和元年 12月20日	10人	市町村の新型インフルエンザ対策に係る連絡会

3 エイズ対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
令和元年 10月15日	君津健康福祉 センター	講演・講 習会	性感染症の現状と基礎知 識「高校生を対象とした HIV/STI の啓蒙活動」	管内養護教 諭・助産師・ 保健師等	22人

イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表3-(1)-イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
令和元年 6月16日	6.26ヤング街頭キャンペーンにおけるエイズキャンペーン エイズ予防啓発パンフレット・グッズの配付

(2) エイズ相談受付状況

表3-(2) エイズ相談受付状況 (単位：件)

年度	性別	相談方法	性別			合計
			男	女	小計	
平成29年度		電話相談	8	-	8	240
		来所相談	153	78	231	
		その他	1	-	1	
平成30年度		電話相談	8	1	9	295
		来所相談	198	88	286	
		その他	-	-	-	
令和元年度		電話相談	10	5	15	248
		来所相談	176	57	233	
		その他	-	-	-	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況 (単位:件)

年度 年齢階級		性別		合計	外国籍 者数(人)	確認検査 件数
		男	女			
平成29年度		172	83	255	4	1
平成30年度		196	88	284	7	1
令和元年度		176	57	233	1	2
年 齢 階 級	～19歳	1	2	3	-	-
	20歳～29歳	45	32	77	1	-
	30歳～39歳	75	14	89	-	2
	40歳～49歳	36	5	41	-	-
	50歳～59歳	11	2	13	-	-
	60歳～69歳	5	2	7	-	-
	70歳～	3	0	3	-	-
	不明	-	-	-	-	-

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況 (単位:件)

年度	検査 性別	クラミジア検査			梅毒血清検査			肝炎検査					
		計	男	女	計	男	女	C型肝炎検査			B型肝炎検査		
								計	男	女	計	男	女
平成29年度		200	139	61	249	166	83	259	174	85	259	173	86
平成30年度		240	173	67	275	186	89	300	204	96	297	203	94
令和元年度		211	163	48	235	180	55	239	181	58	238	181	57

※クラミジア検査は平成27年度から病原体検査、それ以前は抗体検査

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4- (1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

区分 年度 市町村	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成29年度	115(1)	0	1	3	4	112(1)
平成30年度	112(1)	0	1	0	4	109(1)
令和元年度	109(1)	0	1	3	7	100(1)
木更津市	57(-)	-	0	1	5	51(-)
君津市	23(1)	-	0	0	0	23(1)
富津市	10(-)	-	0	0	0	7(-)
袖ヶ浦市	19(-)	-	1	2	2	19(-)

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4- (2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
平成29年度	保健所	前期	115	17	14.8	3
		後期	109	18	16.5	1
	委託医療機関		—	14	—	5
平成30年度	保健所	前期	107	17	15.9	1
		後期	107	20	18.7	1
	委託医療機関		—	15	—	5
令和元年度	保健所	前期	108	12	11.1	1
		後期	104	17	16.3	4
	委託医療機関		—	12	—	7

(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分 \ 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
総 数	101	99	93
医 療 特 別 手 当	5	5	4
特 別 手 当	0	0	0
原 子 爆 弾 小 頭 症 手 当	0	0	0
健 康 管 理 手 当	87	84	76
保 健 手 当	5	6	6
介 護 手 当	0	0	0
埋 葬 料	4	4	7
健 康 手 当	92	89	80

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。